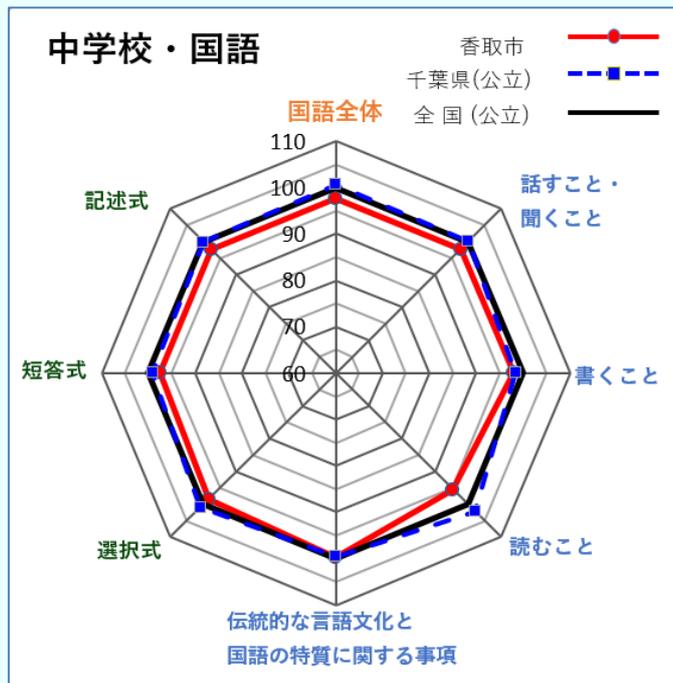


## 中学校の傾向と課題



領域別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国平均と同程度といえますが、「読むこと」については下回っています。

問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均と同程度といえます。

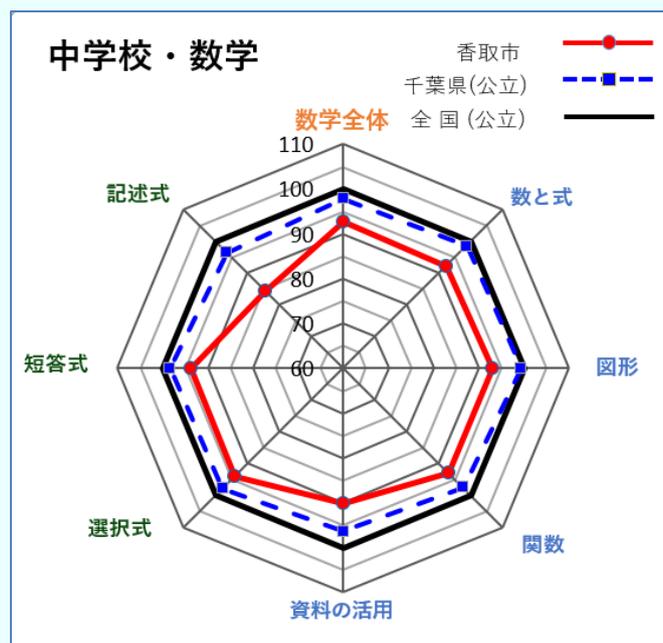
## 課題が見られた主な問題

- 国語 3 一 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する  
[ 香取市 39.7% 千葉県(公立)45.2% 全国(公立)43.7% ]
- 国語 3 三 「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す  
[ 香取市 67.3% 千葉県(公立)71.3% 全国(公立)71.0% ]
- 国語 4 三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する  
[ 香取市 36.2% 千葉県(公立)37.4% 全国(公立)40.3% ]

## 力を入れたい学習

- 文学的な文章を読んで自分の考えをもつために、理解したことや感想などを他者に伝えるとともに、他者の考えやその根拠などを知り、その作品の読み取りについて再確認する活動を取り入れる。
- 普段よく目にする語句であっても、文脈の中における意味を理解するために改めて辞書を引き、意味の確認をする活動を行う（例えば、「呼吸」には「コツ」「物事をうまく行う要領」という意味もある）。
- 個々の場面や描写から直接分かることを把握するだけでなく、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりすることによって、場面や描写に新たな意味付けを行うよう指導する。
- 言葉遣いについては、小学校での学習を踏まえ、敬語を含め広く相手や場に応じた言葉遣い全般について指導する。会話や手紙などでも同様に指導する。

## 中学校の傾向と課題



領域別では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」すべてにおいて全国平均を下回っています。

問題形式別でも、「選択式」「短答式」「記述式」すべてにおいて全国平均を下回っており、特に「記述式」が大きな課題となっています。

## 課題が見られた主な問題

● 数学5	反復横とびの記録の中央値を求める [ 香取市 77.8% 千葉県(公立)83.1% 全国(公立)84.5% ]
● 数学6(1)	四角で囲んだ4つの数が12, 13, 17, 18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く [ 香取市 77.6% 千葉県(公立)84.7% 全国(公立)83.9% ]
● 数学9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する [ 香取市 37.9% 千葉県(公立)43.9% 全国(公立)44.3% ]

## 力を入れた学習

- 記述式の問題に対しては、予想した事柄について式に表し、その式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する活動を行う。
- 資料の散らばりと代表値の学習においては、中央値、平均値、最頻値などの意味や求め方を理解し、目的に応じて指標としてふさわしい代表値を選択できるようにする。また、目的に対して選択した代表値が適切だったか議論する場を設ける。
- 図形の証明においては、事柄が成り立つことを説明するために何を示せばよいのかを明らかにし、着目すべき性質や関係を見出して、根拠を明らかにして説明する活動を行う。